



中央区職員力向上基本プラン

改革を担う自律的な「職員づくり」や「職員力向上マネジメント」に関する基本方針

目次

▶ 目次	1
▶ 1 基本方針	2
▶ 1 - 1 人材育成	3
▶ 1 - 2 目指すべき職場	4
▶ 1 - 3 職員力向上のための基本的な考え方	5
▶ 1 - 4 それぞれの役割	6
▶ 2 意識高揚	7
▶ 2 - 1 キャリア支援	8
▶ 2 - 2 人事評価・チャレンジテーマ	9
▶ 2 - 3 人事配置	10
▶ 2 - 4 市民志向	11
▶ 2 - 5 表彰	12
▶ 2 - 6 コンプライアンス	13
▶ 3 能力向上 職員の成長	14
▶ 3 - 1 人材登用	15
▶ 3 - 2 研修・OJT	16
▶ 3 - 3 自己研鑽	17
▶ 4 持続可能な職員力向上のために	18



1 基本方針



- 人材育成(これまで これから)
- 目指すべき職場
- 職員力向上のための基本的な考え方
- それぞれの役割

1 基本方針 -

人材育成



これまでは

集権型ガバナンスに軸足が置かれ「やらされ感」

これからは

分権型ガバナンスのもと「前向き感」

1 基本方針 -

目指すべき職場



組織風土の改善

- ・エラーをおそれずに積極的にチャレンジする
- ・褒める、認める、評価する
- ・プラスストロークによるコミュニケーションの活性化



1 基本方針 -

職員力向上のための基本的な考え方



職員としてめざすもの

- ・元気で活力ある中央区
- ・安心、安全で明るく暮らしやすい中央区
- ・地域を支援し、地域とともに歩む中央区

目指すべき職員像

- ・市民サービスの向上を目指して取り組む職員
- ・前例のない仕事でも失敗をおそれずチャレンジする職員
- ・困難な仕事でもやり遂げる職員
- ・グローバルな視点で物を見る職員

1 基本方針 -

それぞれの役割



職員の役割

前向きかつ主体的に取り組み、様々な課題解決を行っていきける職場環境を作る。
自ら考え学び行動し、職員としてのキャリア形成に努める。

管理監督者の役割

職員の主体性やチャレンジ性を引き出せるような職場づくり、環境整備に努める。

所属の役割

業務の遂行と業務に精通した「プロ」の職員の成長を支援する。



2 意識高揚

- キャリア支援
- 人事評価・チャレンジテーマ
- 人事配置
- 市民志向
- 表彰
- コンプライアンス



キャリア支援



自己啓発により職員一人ひとりが自分に必要な知識
や能力を認識し、能力開発・向上のために主体的に取り
組んでいきます

人事評価・チャレンジテーマ



- ・評価者と被評価者が納得できる公平・公正な人事評価
- ・人事評価制度の透明性を一層向上させます
- ・チャレンジテーマを設定して、変化やエラーをおそれず、新たな事にチャレンジする組織をめざし、担い手となる人材を育成します

人事配置



多角的な視点から見つめることのできる職員と、高度な専門性を有する職員をバランスよく成長できるよう配置します

市民志向



市民の笑顔は私たち職員の喜びです

常に市民サービスの向上を目指して仕事に取り組んでいきます

市民サービス向上委員会の活動をさらに充実します

表彰



職員の執務意欲の高揚に資するため、職務を遂行して顕著な功績をあげた職員を表彰します

コンプライアンス



コンプライアンスとは法令や諸規則を守ることはもちろん、社会からのより高い期待に応えることです

常にコンプライアンス遵守の意識を継続できる職場環境をつくれます

3 能力向上 職員の成長



- 人材登用
- 研修・OJT
- 自己研鑽

人材登用



職員が主体的に自らの資質及び能力向上に努めることを促し、意欲ある職員の成長を積極的に支援し、任用します。

研修・OJT



実務能力向上のため研修の強化、実施

グローバル化や市民ニーズに対応するため独自の研修を実施

- ・語学研修(25年8月～)
- ・民間企業派遣研修(25年9月～)

OJTを通して、指導する側・される側がお互いに成長できる環境を作ります

自己研鑽



職員の能力やスキルアップのため、職員人材開発センターが実施するパワーアップ研修や自己啓発研修等への積極的な受講を職場全体で支援します

4 持続可能な職員力向上のために



- ・PDCAサイクルによる職員力のスパイラルアップ
 - ▶ 1 Plan (計画) : 目標を設定し、達成のための具体的な行動計画をたてる
 - ▶ 2 Do (実行) : 計画に沿って行動する
 - ▶ 3 Check (評価) : 成果を測定し、評価する
 - ▶ 4 Action (改善) : 必要に応じて、具体的な行動の修正や変更などの改善処置をとる
 - ▶ 次のサイクルは、らせんを描くように1周ごとにスパイラルアップ (spiral up)
- ・アンケート等による市民ニーズの的確な把握と反映

